

ドナ・カーペンターや藤森由香も子どもたちに寄り添いながら、スノーボード体験機会をサポート
特定非営利法人CHILL主催のスノーボードプログラムをBurtonが支援

2月23日・24日 富士見パノラマリゾートにて開催

Burtonでは、特定非営利活動法人CHILLと連携し、より公平なアウトドアコミュニティの育成と若者のキャリア構築を目的とした支援活動を展開しています。

特定非営利活動法人CHILLは、Burtonの創始者である故ジェイク・バートン・カーペンターと、妻であり現オーナー兼会長のドナ・カーペンターによって、1995年に立ち上げられました。スノーボードやスケートボード、SUPといったボードスポーツを通して、若者にキッカケを与え、より公平なアウトドアコミュニティを築いていくことを目的としています。CHILLのプログラムは、家庭的に困難で恵まれない子どもたちが、ボードスポーツを通じて現在置かれている状況を乗り越え、前向きに生きるような勇気を与えたいという想いで展開されており、それぞれが自分自身の可能性に気づき、人生で成功していくチャンスを見つけられるようなサポートをしています。約30年の活動を経て、現在ではCHILLの卒業生がアウトドア業界においてさまざまな活躍ができるように、情報の共有や採用機会の提供、技能の訓練や認定の機会など、キャリア形成の面からも、グローバルな規模で支援の幅を広げています。

日本では、Chill Japanとして活動を展開しており、同じく若者が自分自身の可能性に気づき、人生で成功していくチャンスを見つけるサポートをしています。2003年にスタートしたChill Japanでは、震災で被災した地域の児童生徒や児童養護施設で暮らす子どもたち、フリースクールに通う児童生徒などを招待しスノーボード、スケートボード、スラックライン等の体験をサポートしてきました。これまでに2,100人以上の子どもたちにボードスポーツの機会を提供し、地域のスキー場やボランティアの支援・協力を得ながら、子どもたちひとりひとりが自信をつけて成長していくための活動を続けています。

そしてこの度、2月23日（日）24日（月・祝）に長野県・富士見パノラマリゾートにて、子どもたちを招待する形でのスノーボードプログラムが開催されました。東京都内の児童養護施設及びフリースクールより26名が参加しました。



今回の開催にあたって、ドナ・カーペンターに加え、CHILLのCEOであるベン・クラーク氏が来日。さらにBurtonライダーの藤森由香も参加し、子どもたちのスノーボード体験をサポートしました。また、各地より約20名のボランティアが会場に集まり、レベル別に分けられた子どもたちを誘導しながらプログラムを進めていました。

過去にCHILLのプログラムに参加した経験のある子どもたちは、早速リフトに乗って気持ちよさそうにコースをライディング。スノーボードに乗るのが初めてといった子どもたちには、ボードの取り扱い方から上手な転び方まで、ボランティアスタッフが丁寧に教えていました。ライディングだけでなく、みんなで食べるランチや宿泊施設での時間も含めて、仲間とのスノーボードを思いっきり楽しんだ子どもたちにとっては、終始笑顔が絶えない、特別な機会となりました。

ボランティアとして参加したBurtonライダーの藤森由香は、次のように話していました。
「結構難しいコースもあったんですが、みんなでワイワイ楽しみながら滑りました。ランチタイムでは、同じテーブルにドナ（カーペンター）とベン（クラーク）もいて、英語を交えながら会話を楽しみました。（子どもたちが楽しんでくれているのを見て）自分がスノーボードを始めた時の楽しさが蘇ってくるようで、ライダーとしてこのプログラムに参加してよかったと思いますし、またサポートしていきたいと思います」



Chill Japanでは現在、より多くの子どもたちに体験機会を提供するための、クラウドファンディングを展開しています。現在の運営体制では、招待できる子どもたちの数に限りがあり、参加したいという施設の方やフリースクール等の先生、そしてなにより子どもたちの声に応えることができていないという実情があります。一人でも多くの子どもたちが自信を持ち、可能性を見つけ前向きに生きることをサポートするクラウドファンディングは、3月31日午後11:00まで実施されています。

[Chill Japanのクラウドファンディングについて](#)

Burtonの活動の全ては、ブランドが掲げる「パーパス」に基づいています。山をフィールドとして楽しむスノーボードのブランドとして、「人」、「地球」、そして「スノーボード」のためにできることは何か？を常に追求し、行動に移しています。今シーズン展開されているプロダクトの一つ一つにも、それらの想いが込められています。

Burtonのパーパスについて

私たちが目指す未来は明確です。
関わる全ての人々にポジティブな影響を与えること。
環境への負荷を最小限に抑えること。
そして、思いっきりスノーボードを楽しむことです。

人々のために

人々を尊重するという事は、公正な賃金を支払い、責任ある調達を徹底し、誰もが歓迎されるコミュニティを築くことです。

地球のために

環境への負荷を最小限にする。
そのために必要なことは、CO2の排出量を削減し、地球や人々にとって安全で、かつ長く使えるプロダクトを作ることです。

スノーボードのために

私たちの使命は、スノーボードの未来を守り、誰もがライディングを楽しめる世の中にあることです。

2025ゴール

クライメートポジティブに向かって

私たちは、2025年までのクライメートポジティブ達成を目指します。
そのために、SBTi (Science Based Targets イニシアティブ) に沿ってカーボンフットプリントを削減し、その排出量を相殺するための投資を行い、そして気候変動を引き起こす構造レベルでの変革を提唱します。

Certified



BurtonはBコーポレーション認証企業

「B Corporation (Bコーポレーション)」=「B Corp (Bコープ)」とは、米国の非営利団体B Labがおこなっている、社会や環境に配慮した公益性の高い企業に対する国際的な認証制度。
Burtonは、スノーボードカンパニーとして初めて2019年に認証を取得し、2024年には北米・ヨーロッパ・アジア太平洋エリアにおいて、Burton及びAnonブランドにて再認証されました。

Burtonについて

ジェイク・バートン・カーペンターは、1977年にアメリカ・バーモント州のガレージでスノーボード作りを始め、Burton Snowboardsを設立。以後、生涯をスノーボードに捧げました。Burtonは、創業時より画期的なプロダクトライン、リゾートに対する草の根的努力、そしてトップレベルのチームライダーにより、スノーボードを裏山での遊び道具から、ワールドクラスのスポーツへと成長させることにおいて、極めて重要な役割を果たしてきました。現在は、スノーボードギアとアウトドアに関連する業界トップのプロダクトをデザイン、製造しています。アウトドア/ウィンタースポーツ業界のサステナビリティ・リーダーとして、スノーボードの企業として世界で初めてB-Corp認証を取得しました。Burtonはドナ・カーペンターにより所有されているプライベートカンパニーで、アメリカ・バーモント州バーリントンに本社、オーストリア、日本、オーストラリア、カナダ、中国にオフィスを置いています。詳しくはwww.burton.comをご覧ください。